

『かるた出前授業』

めぐりあひて 見しやそれとも わかぬ間に

雲がくれにし 夜半の月かな

紫 式部

[現代訳] 久しぶりに会えたと思ったら、幼友達のあなたかどうかも分からないほどあっという間に帰ってしまいました。やっと出てきて見えたと思ったとたんに雲に隠れてしまった夜の月のようでしたね。

作者は、「源氏物語」の著者でもある紫式部です。

久しぶりに会った友達でさえゆっくり会うこともままならない、時空を超えて、コロナ禍を連想させる歌のようにも感じました。

山陽小野田市小中学校の「かるた出前授業」は今年で3年目になりますが、この歌は、出前授業で一番最初に覚えてもらっている歌です。参加した皆さん、覚えていますか？

出前授業では、競技かるたの試合で素早く取るために、上の句の「め」と下の句の「くもがくれ」を結びつくように教えています。

「歌を覚えて、札を飛ばして、やっと楽しく試合が出来るようになったと思ったら、もう出前授業が終わってしまった。」そう感じてもらえているかな～。

今年も競技かるたの魅力を伝えるため小中学校へ行きますよ。一緒に楽しみましょうね。

山陽小野田かるた協会 時吉 陽子